

No. 194
2019. 9

ねば

広報

私たちの村

人口と世帯 令和元年8月31日現在

総人口	900人
男	440人
女	460人
世帯数	412世帯

村の木 す ぎ

村の花 岩つつじ

発行 根羽村役場
〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村2131-1
TEL 0265-49-2111 FAX 0265-49-2277

ホームページアドレス <http://www.nebamura.jp>
メールアドレス info@nebamura.jp
印刷 龍共印刷株式会社



9月20日にオリンピック提供
木材出発式が行われました。

※詳細は7ページ

9月号の主な内容

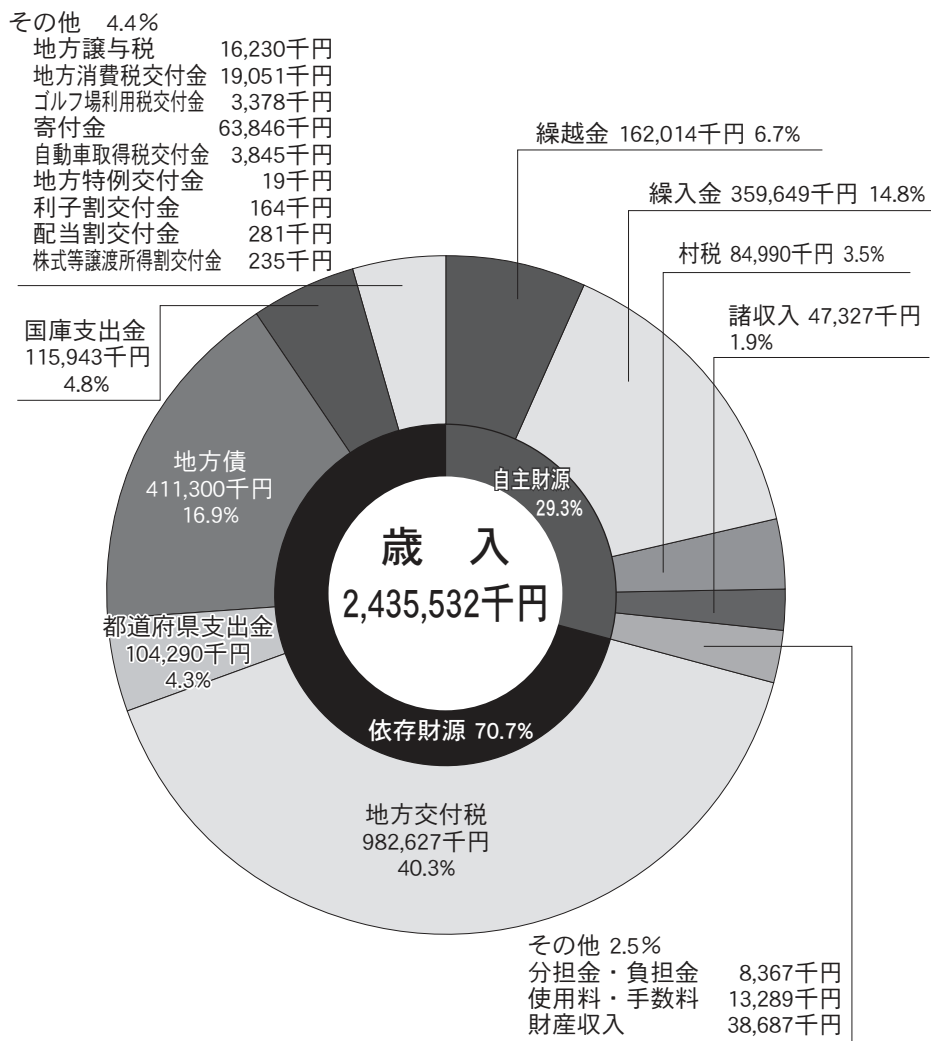
30年度決算 2～3 ページ
議会だより 4～5 ページ
人事行政状況発表 他 6 ページ
オリンピック提供木材出発式 他 7 ページ
平成30年 橋梁定期点検結果 8 ページ
クロスロード・アフタヌーン・ライブ開催 他 ... 9 ページ
保育所運動会 他 10 ページ
A L T 紹介 他 11 ページ
第44回ふるさと根羽村フォトコンテスト 他 ... 12 ページ

20億7,141万円

平成30年度の一般会計及び6特別会計の決算が9月定例村議会で認定されました。

一般会計と6特別会計の歳出総額は27億7000万余で前年対比11.3%の増となりました。

ここで、村の会計簿であり、村づくりの記録でもある平成30年度普通会計（一般会計と村営バス特別会計）の決算概要をお知らせします。



まず、歳入の状況をみますと、依存財源の比率は68%で、このうち地方交付税が全体の43%（対前年比3.9%減）、国庫支出金が4.8%（対前年比4.5%増）、県支出金が4.3%（対前年比19.9%減）となっています。自主財源の比率は32%でこのうち村税は3.5%となっております。

次に歳出ですが、性質別にみますと、普通建設事業費が44.7%（対前年比14.1.2%増）次いで公債費（起債償還）13.8%（対前年17.7%減）物件費10.6%（対前年比12.5%減）人件費が9.3%（対前年比6%減）となっています。次に主な事業内容ですが、庁舎改造工事3億4655万

7000円、ケーブルテレビ設備整備事業1億3640万4000円、地域産業再生拠点施設整備事業7506万円、小中学校屋内運動場改修工事4644万円、田島低コスト住宅建設工事3261万6000円、林道洞中線開設工事2380万3000円などとなっております。

◇一般会計・特別会計収支の状況

(単位：金額＝千円、率＝%)

	予算現額	収入済額	対前年比	支出済額	対前年比	差 引
一 般 会 計	2,457,456	2,420,443	9.2%	2,255,908	9.4%	164,535
バ ス 会 計	15,536	18,014	△5.9%	15,505	△6.8%	2,509
調 整		△2,925	△15.9%	△2,925	△15.9%	0
国 保	198,066	188,181	97.8%	185,240	75.1%	2,941
簡 易 水 道	44,260	40,957	14.3%	40,957	14.3%	0
下 水 道	63,375	60,228	2.9%	60,228	2.9%	0
介 護 保 険	207,201	203,580	9.5%	200,616	9.7%	2,964
後 期 高 齢 者	17,685	17,582	1.9%	17,582	1.9%	0
合 計	3,003,579	2,946,060	12.9%	2,773,111	12.1%	172,949

決算概要 平成30年度 普通会計の歳出総額



▲田島低コスト住宅

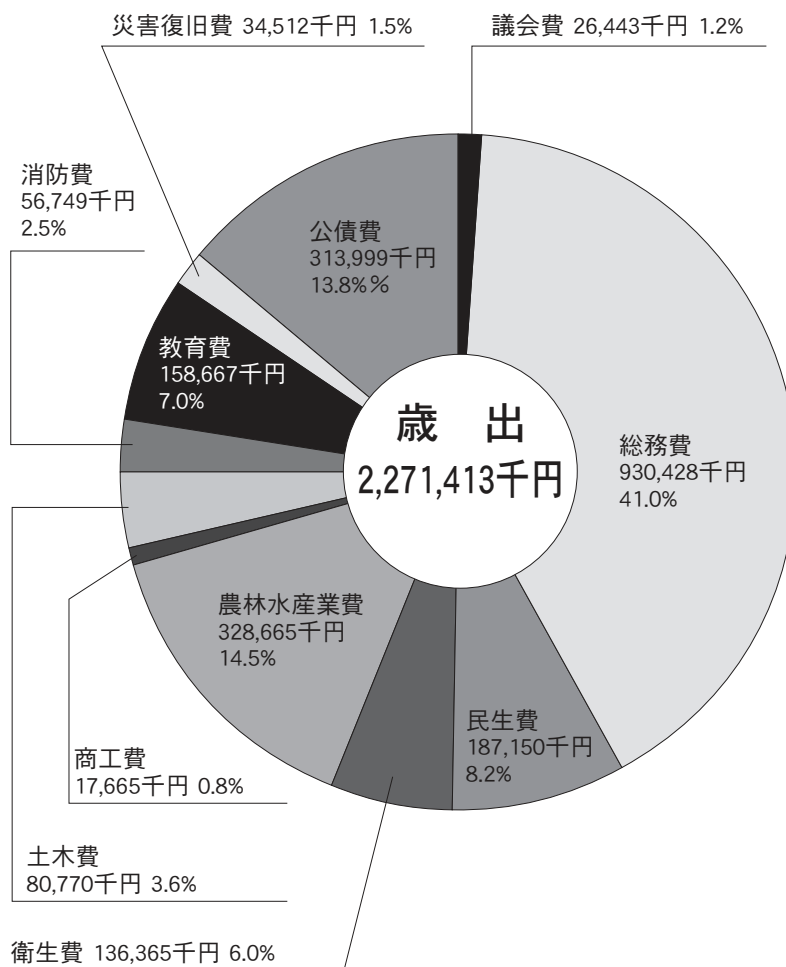
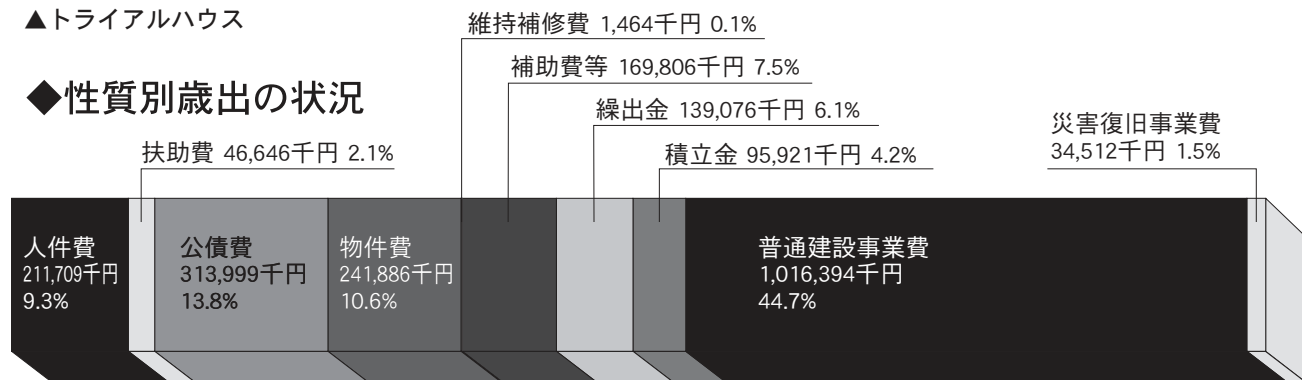


▲林道洞中線開設工事



▲トライアルハウス

◆性質別歳出の状況



歳 出
2,271,413千円

議会
だより

9月定例会

一般会計補正予算等

17議案について審議

9月10日・13日・18日の3日間にわたり9月定例会が開催されました。
内容については次のとおりです。

一般質問

◆下井敦志議員

質問 村のSDGsに対する取り組みについて伺いたい

回答 SDGsは2015年国連サミットで採択され、2030年までに国際社会全体で17の持続可能な目標を設定して、誰一人取り残さない世界の実現という基本理念の下で地球規模の課題を解決するための環境、社会、経済の未来の課題をまとめたもので2016年から2030年までの国際目標とされるものであり、17の大きな目標目標、169のターゲットで構成され、世界的な取り組みに対し、日本では8つの分野の取り組みをさらに具体化することとしている。17のゴールは放射状に繋がっており、村としてはSDGsの取り組みにさまざまな共通するところがある。今取り組んでいる内容もSDGsに関連する事業があり、さまざまな地域課題を解決するためには、SDGsの基本的な理念を取り入れながら行政課題の解決に向け取

り組み、SDGsに沿うような形で村づくりを平行していきたいと考えているのでご理解をお願いしたい。また、村の基本計画となるのが第5次根羽村総合計画であり、平成27年から10年間で計画している。これとリンクする形で平成28年に総合戦略を策定し実施しているところであり、こうした中でSDGsの目標に沿うものも非常に多くあると同時にすでに実施しているものがある。具体的には関連したものとしてゴール3の「すべての人に健康と福祉を」という関係では、医療受信体制の整備、あるいは住み慣れた土地で安心して生活できる基盤づくりとしての総合的な地域福祉の向上、ゴール4の「質の高い教育をみんなに」という部門では、子供達を伸び伸びと育てる児童福祉の教育の充実、子育て支援の充実、現在進めている義務教育学校の含めて、充実した教育環境の整備と幼少期の地域との関わり、の充実、また環境教育、木育教育の充実と交流連携による取り組みが、質の高い教育に当たる位置づけとなっている。ゴール7の目標「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」という項目について村では木質バイオマスエネルギーへの取り組みをすでに実施しており、自然エネルギーの促進も実施している。将来的構想としては地域熱の有効利用による新たな雇用創出も図りたいと計画している。ゴール8「働きがいも、経済成長も」という項目について、一つは村内での雇用経済の循環を大きな目標として掲げ、また六次産業の振興、さらにハイブリッドな働き方の提唱がこれにあたると考える。ゴール11では、「住み続けられるまちづくり」これは生活基盤の充実であり、道路、上下水道等、さまざまな面の防災対策を含めた村づくりである。ゴール15の「陸の豊かさを守る」の部分については現在積極的に進めているトータル林業の推進、あるいはさまざまな環境に配慮した山地酪農の推進、流域連携による地域づくり、そういったものがあたると考えている。具体的に根羽村でもSDGsに関連した事業が取り組まれていると理解しており、こういった活動を非常に重要であると考えている。矢作川の上下流域を一つの生活圏としてとらえて具体的な事業化を検討しようというプラットフォーム事業に乗り込んでおり、この取り組みの先には、SDGsの17の目標の中の

森林環境保全の面で「陸の豊かさを守ろう」という部分、木育という観点から「質の高い教育をみんなに」という部分、森林の有効利用の点から「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」という三つの目標を具体的に目指す事も視野に入れて計画ができたかと進めている。この事業については環境省が百パーセントの助成をいただき、コンサルタントを含めて、これから計画していく事業となっている。このプラットフォーム事業の中でモデル事業も具体化したいと考えている。このプラットフォーム事業ができる、根羽村の地域循環共生圏のマンダラができ、それを使って広くPRしていきたいと考えている。SDGsについては申請により内閣府から認定を受ける制度ですが、すぐに申請とはいかず、少し準備がかかる、今後検討していきたいと考えている。村づくりの展開にあたっては、SDGsの理念をしつかりと取り入れて行政課題、地域課題に取り組んで行きたいと考えている。

◆片桐康孝議員

質問 地区懇談会について伺いたい。

回答 毎年村民の皆さんへの村の状況報告を兼ね、村民の皆さんと懇談をする大変重要な場ととらえている。懇談会で村民の皆様からさまざまな意見・要望

が出され、それに対する対応状況は、年末毎区長の皆様へまとめたものを一覧表にして報告している。議員の皆様にも、懇談会が終了した後、内容とその時点での対応状況をお配りしている。村で対応できるものは時間の差異はありますが、できる限り対応させてもらっており、公としてできないものに関しては、その理由を説明しながらご理解いただいている。関係機関への要望もしつかりと繋いでいるわけですが関係機関としてすぐに必要な答えられないものがあるのも事実であり、そういったものに関しては継続的に要望を行っている状況である。また地区懇談会の折にはその状況を説明させて頂いている。

◆坂巻秀高議員

質問 ①固定資産税の課税の在り方について伺いたい。

②消防団並びに団員の負担軽減について伺いたい。

回答 ①村税として課税させていた、だいたいいる普通税は、村民税・固定資産税・軽自動車税・村のたばこ税・特別土地保有税を課税させていた。建物の新増築の移動の把握方法ですが、固定資産税は毎年1月1日現在の所有する方に課税をお願いしており、土地の異動については法務局からの通知で把握している。未登記家屋については区長さんを通じた区内の回覧

による調査を毎年実施したり、村の担当者の調査によって異動を把握している。その他にも、村を経由して県への提出が必要な建築工事届ですとか、建物の除去届でも把握でき、役場の担当課同士で連絡を取り合っている。新築増築については村で現地調査を行い評価額決定しているが、その際飯田市の建築設計事務所職員のの方に評価補助員をお願いしており、より正確な評価の実務に努めている。新旧建物の課税については、同じ場所建て替える、旧建物の全てを壊し新たに建築した場合は新しい建物の評価で課税しており、建て替えに限らず滅失済みの建物に引き続き課税されている場合は更正の必要があり固定資産税の還付が必要となる。現在こうした事案は基本的に無いと考えている。ただ村ではこうした事案が発生しないように事務の適正化を図っているところであり、あわせて所有者の方には新年度の課税の際には課税台帳の縦覧制度ですとか、納税通知とあわせてお送りしている課税明細書でも確認をお願いしている。なお評価に対して不服のある場合には申し出ができる期間も制度上設けている。納税の義務に関しては、納入期限を過ぎた場合には地方税法、あるいは村の税条例によって督促をさせて頂く場合には督促手数料や、本税

の延滞金を徴収させて頂いた場合もある。また、還付が必要な場合も同様に還付加算金が計算され決められた率により、五年までさかのぼって還付することとしている。

②根羽村消防団は従来5分団制としていたが、平成15年に2分団に編成を移行した。当時の団員数は66名で、現在条例上の定員は60名で今年の団員数は48名、非常時に消防団の活動を応援していた消防団協力員、消防地域協力員を制度化し、それぞれお願いしている。消防団協力員の皆さんは退団してから50歳までの方を対象にお願いしており、村内の火災など非常時に動いたくこととなっている。消防地域協力員の皆さんは、地域での家屋や耕地災害等の火災時に出勤いたくこととなっている。消防団協力員が現在15名、消防地域協力員は52名という体制でご支援、ご協力をいただいている。大会等への負担軽減等に関しては、飯伊地域では毎年飯伊消防技術大会が開催されており、当村からも参加している。団員の皆さんには毎回訓練を重ねて取り組んでもらっており感謝を申し上げる。例年7月上旬から中旬にかけて大会があり、大会においては団として参加の有無や、訓練計画を立てて実施していた。団員や家族の負担軽減を図るのは

非常に大切なことと考えているが、大会に向けての取り組み方については村先導ではなく消防団が協議して決定している。村としては団の意向を尊重して村としてできる限りの協力していく姿勢をとって行きたい。DV等による事前学習については、非常時に安全・的確に活動するためには基礎訓練は重要である。訓練方法については、さまざまな方法があると思うので、必要な方法についてしっかりと団として検討し、必要であれば村として支援をしていく。消防団活動が若者定住に支障をきたすのではということに関しては、消防団は地域の安心・安全を守るためには必要な組織であり、なくてはならないものと考えている。しかしやはり消防団活動が個人の生活の重荷になるのは良くないと考えており、こうした事は村として、地域全体でしっかりと考えていく必要があると思うので、また具体的な事項などあれば村としても検討して行きたい。

条例

◆一般職の職員の給与に関する条例を改正する条例の制定について

◆根羽村消防団員の定員、任免、服務等に関する条例を改正する条例の制定について

◆根羽村印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

国の法律等の改正に伴い条例の制定及び改正がされました。

会計補正予算(第2号)
修繕費等50万8000円追加し総額1658万4000円余となりました。

決算

◆根羽村森林環境整備基金条例の制定について
森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の施行に伴い創設された森林環境譲与税を基金として積み立て、森林整備及びその後の促進を図ることを目的に適正に管理及び運営するための新たな条例の制定がされました。

予算

◆令和元年度根羽村一般会計補正予算(第3号)
林道維持補修工事費千六十八万円等を追加し、総額十八億二千八百二十万円余となりました。

◆令和元年度根羽村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
旧被扶養者減免に係るシステム改修費65万2000円等を追加し総額7762万7000円余となりました。

◆令和元年度根羽村簡易水道特別会計補正予算(第1号)
浅間、松原地区水道施設補修費939万1000円を追加し総額6909万1000円余となりました。

◆令和元年度根羽村下水道特別会計補正予算(第1号)
上町地区のマンホール嵩上げ工事費176万円追加し総額6486万円余となりました。

◆令和元年度根羽村営バス特別会計補正予算(第2号)
修繕費等50万8000円追加し総額1658万4000円余となりました。

◆平成30年度根羽村一般会計歳入歳出決算の認定
◆平成30年度根羽村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

◆平成30年度根羽村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定
◆平成30年度根羽村下水道特別会計歳入歳出決算の認定

◆平成30年度根羽村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
◆平成30年度根羽村営バス特別会計歳入歳出決算の認定

◆平成30年度根羽村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
一般会計並びに6特別会計の決算審査が行われ、全7会計について原案どおり認定されました。

報告事項

◆平成30年度根羽村財政健全化判断比率

人事

◆教育委員会の委員の任命
教育委員会委員の任期満了に伴い、片桐達司さん再任について同意されました。

根羽村の人事行政の運営等の状況を公表します

1. 職員数の状況

(31年4月1日現在)

年 度	一般行政									特別 行政	公営企業等			総計
	議会	総務	税務	農林	商工	土木	民生	衛生	小計		下水道	その他	小計	
29		7	2	4		2	5	2	22	3	0	1	1	26
30		7	2	4		2	4	2	21	3		1	1	25
	0	0	0	0	0	0	△1	0	△1	0	0	0	0	△1

職員の任免状況 新規採用：2人(H29.6.1付)(H30.4.1付) 退職：3人(H29.5.31付)(H29.8.31付)(H30.1.3付)

2. 職員の給与の状況

普通会計決算

※人件費には、議員報酬等各種委員報酬を含む

区分	歳出総額	人件費	内給与費			人件費比率
			給料	職員手当	小計	
30年度	2,271,413	211,709	59,158	37,159	96,317	9.3%

3. 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

- ① 1日の勤務時間 8:30～17:15 7時間45分 ② 1週間の勤務時間 38時間45分
 ③ 勤務時間を割り振らない日 土曜日及び日曜日 ④ 休日 国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月29日～1月3日
 ⑤ 休暇の種類 年次休暇、療養休暇、特別休暇、介護休暇、組合休暇

4. 職員の分限及び懲戒処分

該当なし

5. 職員の服務状況

良好

6. 職員の研修等の状況

長野県職員研修センター主催研修等各種研修に参加

7. 職員の福利及び利益の保護の状況

- ① 加盟団体 根羽村職員互助会・長野県市町村職員互助会
 ② 公費負担状況 根羽村職員互助会 20万円 長野県市町村職員互助会 20万円

8. 下伊那郡公平委員会報告

勤務条件に関する措置要求 該当なし
 不利益処分による不服申し立て 該当なし



日本の木材活用リレー ～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～ 提供木材出発式

根羽村、川上村、天龍村は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が募集した「日本の木材リレー～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～」に応募し、事業協力者として選定されました。オールジャパンで大会を盛り上げるとともに、環境に配慮した持続可能な大会を実現するために、全国の自治体から無償で借り受けた木材を使用して、選手村ビレッジプラザを建設し、大会後に解体された



木材を各自治体の公共施設などでレガシー（遺産）として活用するものです。昨年から提供木材について準備を進めてきましたが、いよいよ木材を現地へ提供できる運びとなり、今回、提供木材出発式を9月20日（金曜日）根羽村森林組合で開催しました。当日は、3村の村長をはじめとし、共催者として、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会場整備局福島局長、来賓として、長野県南信州地域振興局林務課長、及び、根羽村、川上村、天龍村の関係者、根羽小学校の児童が参加しました。出発式では、3村長が東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会場整備局福島局長に納品書を渡し、テープカットを行い、関係者・根羽小学校の児童に見送られ東京都中央区晴海に向けてトラックが出発をしました。

根羽村はスギ約18m³、川上村はカラマツ約7m³、天龍村はヒノキ約7m³を提供します。



2019 根羽やまあいフェスティバルを開催します。是非参加してください。

日時 10月12日（土） やまあい村民運動会 午前9時から
13日（日） 各イベント 午前8時30分から
場所 根羽村山村広場・トレーニングセンター



平成30年 橋梁定期点検結果

村道橋梁定期点検結果について

村が管理する村道橋梁（84橋）の定期点検を平成27年度から平成30年度に実施しました。その点検結果についてお知らせします。

この橋梁定期点検は、道路法の改正にともない平成26年度から全国一斉に道路橋の点検・診断が義務化されました。点検は5年に1度のサイクルで実施し、橋梁の健全度を下記表のとおり4段階で判定します。その点検結果を活用し「橋梁長寿命化策定計画」に基づき、計画的に橋梁修繕を実施していきます。

道路橋の健全度判定区分

区 分		定 義
I	健 全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

道路橋ごとの点検結果については以下のとおりです。

No.	橋梁名	路線名	架設年次	供用年数	橋長(m)	幅員(m)	判定区分
1	宮前橋	幹Ⅰ－1号線	2008	11	24.6	4.4	Ⅱ
2	大曾礼橋	幹Ⅰ－1号線	1977	42	32.6	5.0	Ⅱ
3	月瀬大橋	幹Ⅰ－1号線	1977	42	46.0	5.6	Ⅲ
4	明神橋	幹Ⅰ－3号線	1960	5	13.4	4.3	Ⅱ
5	権現橋	幹Ⅰ－3号線	1962	57	7.0	4.1	Ⅱ
6	落合橋	幹Ⅰ－3号線	1964	55	8.0	4.1	Ⅱ
7	池ノ平橋	幹Ⅰ－3号線	1966	53	4.3	4.0	Ⅰ
8	横旗橋	幹Ⅰ－4号線	1953	66	10.7	5.9	Ⅲ
9	不動橋	幹Ⅰ－4号線	1955	64	8.0	6.1	Ⅲ
10	宮ノ入沢上橋	幹Ⅰ－4号線	1955	64	2.5	5.5	Ⅰ
11	砦橋	幹Ⅰ－4号線	1955	64	11.6	6.7	Ⅲ
12	上町唐沢橋	幹Ⅰ－5号線	1955	64	5.1	4.0	Ⅱ
13	明神橋	幹Ⅰ－5号線	1954	65	26.3	4.0	Ⅳ
14	大畑唐沢橋	幹Ⅱ－3号線	1965	54	4.5	4.0	Ⅱ
15	太田橋	幹Ⅱ－5号線	1956	63	24.0	4.3	Ⅲ
16	ぐみの水源橋	幹Ⅱ－6号線	1979	40	6.5	4.1	Ⅱ
17	仲之沢橋	幹Ⅱ－6号線	1972	47	16.2	4.1	Ⅲ
18	ワナバ橋	幹Ⅱ－6号線	1972	47	8.6	4.1	Ⅱ
19	ムネバタ橋	幹Ⅱ－6号線	1972	47	8.0	4.2	Ⅱ
20	こいじ橋	幹Ⅱ－7号線	1959	60	3.2	4.9	Ⅰ
21	洞中橋	幹Ⅱ－7号線	1961	58	4.0	4.2	Ⅰ
22	掘割上橋	幹Ⅱ－7号線	1961	58	3.8	4.0	Ⅰ
23	不動橋	幹Ⅱ－7号線	1962	57	4.1	4.4	Ⅱ
24	新道橋	幹Ⅱ－7号線	1962	57	3.1	4.2	Ⅱ
25	権三洞橋	幹Ⅱ－7号線	1957	62	5.3	3.8	Ⅱ
26	源左切橋	幹Ⅱ－7号線	1957	62	10.7	4.2	Ⅱ
27	くれん沢橋	幹Ⅱ－7号線	1959	60	3.6	3.9	Ⅲ
28	箱淵橋	幹Ⅱ－7号線	1969	50	9.6	3.6	Ⅲ
29	境橋	幹Ⅱ－7号線	1959	60	3.5	4.0	Ⅱ
30	浅間橋	幹Ⅱ－7号線	1958	61	15.0	4.0	Ⅲ
31	倉の平橋	幹Ⅱ－8号線	1991	28	13.3	6.5	Ⅱ
32	東又橋	幹Ⅱ－8号線	1973	46	13.2	6.7	Ⅱ
33	持田橋	幹Ⅱ－10号線	1938	81	12.5	3.6	Ⅲ
34	新十橋	幹Ⅱ－10号線	1976	43	4.0	7.3	Ⅰ
35	わらび沢橋	幹Ⅱ－11号線	1968	51	6.4	3.6	Ⅰ
36	大又入橋	幹Ⅱ－11号線	1959	60	13.0	4.0	Ⅱ
37	小栃橋	幹Ⅱ－12号線	1993	26	8.9	5.3	Ⅱ
38	下横旗橋	幹Ⅱ－13号線	1976	43	13.5	4.0	Ⅲ
39	槻沢橋	幹Ⅱ－13号線	1977	42	2.6	4.4	Ⅰ
40	コバシガ沢橋	幹Ⅱ－14号線	1978	41	6.6	4.3	Ⅱ
41	市之瀬大橋	幹Ⅱ－14号線	1971	48	16.4	3.0	Ⅲ
42	鎭瀬橋	幹Ⅱ－16号線	1931	88	18.7	4.4	Ⅲ
43	小峠沢橋	幹Ⅱ－18号線	1959	60	4.5	4.1	Ⅲ
44	莧野橋	幹Ⅱ－18号線	1962	57	12.9	7.8	Ⅲ
45	弁天橋	幹Ⅱ－18号線	1954	65	16.4	4.0	Ⅲ
46	穴洞中橋	西－2号線	1970	49	4.0	3.0	Ⅰ
47	寒の神橋	西－5号線	1975	44	10.0	3.0	Ⅱ
48	桃田橋	西－17号線	1976	43	40.0	4.0	Ⅲ
49	根羽峡大橋	西－100号線	2014	5	49.2	2.0	Ⅰ
50	金毘羅橋	中－2号線	1967	52	15.1	2.6	Ⅱ
51	上町唐沢上橋	中－17号線	1976	43	6.0	3.0	Ⅱ
52	山吹上橋	中－22号線	1987	32	7.5	4.5	Ⅱ
53	山吹橋	中－22号線	1986	33	49.9	5.2	Ⅱ
54	野田沢橋	東－7号線	1965	54	3.5	2.5	Ⅰ
55	坂下橋	東－28号線	1969	50	4.0	3.9	Ⅰ
56	宮淵橋	東－28号線	1970	49	13.4	2.5	Ⅱ
57	天王橋	東－34号線	1976	43	5.4	4.8	Ⅰ
58	浅間平橋	東－37号線	1971	48	18.1	3.5	Ⅱ
59	タイコ橋	東－44号線	1978	41	11.8	3.6	Ⅱ
60	1号橋	東－47号線	1969	50	5.3	4.5	Ⅰ
61	2号橋	東－47号線	1969	50	5.4	4.0	Ⅰ
62	新井中橋	南－1号線	1998	21	41.0	5.2	Ⅰ
63	上り橋	南－11号線	1977	42	8.0	4.1	Ⅱ
64	羽根坂橋	南－11号線	1978	41	25.5	5.2	Ⅲ
65	洞切橋	南－18号線	1970	49	6.0	3.0	Ⅱ
66	宮前橋	南－23号線	1992	27	13.3	5.2	Ⅱ
67	兎田橋	南－25号線	1976	43	7.0	2.5	Ⅰ
68	国界橋	南－26号線	1955	64	3.2	3.2	Ⅲ
69	離山橋	南－29号線	1975	44	13.9	3.0	Ⅱ
70	秋葉橋	北－9号線	1983	36	6.4	3.6	Ⅰ
71	大作橋	北－12号線	2005	14	21.0	5.2	Ⅰ
72	本洞橋	北－29号線	1970	49	4.7	3.9	Ⅲ
73	大上橋	北－32号線	2002	17	9.5	4.9	Ⅰ
74	市之瀬橋	北－35号線	1975	44	19.4	3.8	Ⅱ
75	明林橋	北－38号線	1966	53	23.5	4.8	Ⅲ
76	木和田沢橋	北－38号線	1967	52	15.0	4.6	Ⅲ
1	唐沢橋	中－12号線	不明		4.5	0.8	木橋Ⅰ
2	神橋	西－42号線	不明		3.1	2.0	木橋Ⅰ
3	杣路橋	西－8号線	不明		3.0	1.0	木橋Ⅱ
4	初入沢橋	西－23号線	不明		2.8	1.2	木橋Ⅱ
5	山吹下橋	中－6号線	1976	43	16.8	1.2	人道Ⅱ
6	助七橋	東－16号線	不明		4.3	1.3	木橋Ⅱ
7	野田橋	東－26号線	不明		8.9	0.9	人道Ⅰ
8	宮ノ入沢下橋	北－33号線	不明		5.1	1.2	木橋Ⅰ

* 着色部は対象外

クロスロード・アフタヌーン・ ライブが開催されました

8月12日にネバーランドにおいてにおいてクロスロード・アフタヌーン・ライブが開催されました。

根羽村軽音楽部～夏の選抜チーム～の他に飯田市や東京から出演者が集まり、ロック、ポップス、フォーク、ジャズなど様々な音楽で会場を楽しませました。

お盆休みと重なり参観者が多く、会場は例年以上に盛り上がりました。



シームス根羽会の道路愛護表彰 授賞式が開催されました

8月5日にやまあいホールにおいてシームス根羽会が国土交通省中部地方整備局から感謝状を授与しました。

シームス根羽会は、村内において、植栽帯の清掃・除草等の管理を行っており、通行ドライバーの気持ちを和ませる景観の維持・伊那路のイメージアップ等、約14年間にわたる道路愛護への多大なる貢献が評価され感謝状が授与されました。

シームス根羽会長の小澤正宗さんからは、これまでの活動の経歴や今後の抱負を語られました。



年金生活者支援給付金について

給付対象者には、9月上旬から、簡易な葉書タイプの請求書がリーフレットとあわせて順次郵送されております。必要事項を記入し、切手と目隠しシールを貼ってポストに投函してください。今年(令和元年)12月末までに提出された方は、10月分まで遡って支給されますが、来年(令和2年)1月以降の提出の場合は、提出月の翌月分からの支給となりますので早めに提出してください。(支給開始は12月中旬以降となります)

詳しくは、下記のQRコードを読み込んでご確認ください。または、専用ダイヤルにお問い合わせください。(0570-05-4092)



年金生活者支援給付金サイトのURLはこちら↓
<https://www.mhlw.go.jp/nenkinkyuufukin/index.html>

令和元年度 長野県学校保健功労者表彰

学校医として学校の保健管理に尽くした者として、9月4日に佐藤医院の佐藤健先生が長野県より表彰されました。功労者表彰おめでとうございます。今後も健康に留意され、一層活躍されることを期待しております。



● ● ● ● ● 保育所運動会 ● ● ● ● ●

9月21日(土)根羽村保育所で運動会が行われました。天候が心配されましたが予定どおり行われ、園児16名は元気いっぱい種目に取り組みました。また保護者をはじめ、祖父母、来賓多くの方が応援に来てくれました。かけっこでは名前を呼ばれると大きな声で返事をし



ドラえもん音頭

て、友達に負けないように全力で走りました。また、みんながどうぶつえんでは、親子でキリンや象など様々な動物になりきって、竹馬や下駄で上手に歩けるようになった姿を披露しました。みんなでおどろろ！ドラえもん音頭では、未満児から祖父母までみんなで輪になって楽しく踊りました。午前中で運動会は終了しましたがとても和やかで笑い溢れる運動会でした。



かけっこ

みんながどうぶつえん
(キリンになりきっているところ)

● ● ● ● ● 第21回中馬太鼓ジャンボリー ● ● ● ● ●

9月22日に豊田市稲武中学校で第21回「中馬太鼓ジャンボリー」が開催され、根羽小学生が参加しました。

「中馬太鼓ジャンボリー」は、中馬街道という歴史の背景のもと、県境を越えた太鼓連が集まって子どもから大人まで、世代を超えた交流の輪を広げ、ふるさとの伝統文化を未来に伝えて行こうと始まった太鼓イベントで、根羽小学校のほか、岡谷太鼓、キラリン太鼓、ビートレポリューション、稲武廻り太鼓クラブの出演がありました。

児童数が少なくなってきたため、今年は一年生から太鼓活動に取り組んできました。初めての太鼓のリズムとみんなで合わせることがとても難しかったようですが、上級生をお手本に堂々と発表ができました。



● 三河湾で広大な海を感じてきました ●

8月3日(土)に中学生が雲ひとつ無い青空の中で、三河みとアリーナを発着場としクルーザーの乗船体験をしました。これは根羽村と親交のある文川清光さんが「根羽の子どもたちに特別な体験をさせてあげたい」と、三河湾へ招待してくれたもので、自己の所有するクルーザーで約2時間の航海を楽しませてくれました。乗船中は中学生に舵とりや帆上げ等の作業体験もさせてくれました。乗船体験後はクルーの皆さんとバーベキューをして交流を深めました。お別れ会では参加した中学生から「すごく楽しくて本当に良い体験をさせてくれた。今年卒業なのでクラスメイトといい思い出を作ることができた。」と笑顔で感謝と感想を述べていました。

今回中学生にこのような贅沢で素敵なひとときを過ごさせていただき、文川さんをはじめ多くのクルーの皆様ありがとうございました。



● ● シンガポール海外研修 ● ●

中学1・2年生は7月25日から4泊5日でシンガポールへ海外研修に行ってきました。多くの生徒にとって初めての海外で、シンガポールの発展した経済や多様な文化、そこに暮らす様々な人との関わりなど、日本では味わえない貴重な体験をすることができました。



マーライオン公園



食事風景



ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ (近未来型植物園)

新ALT紹介

ルセロ・ジャスミン先生

新ALT（外国語指導助手）を紹介いたします。

名前はルセロ・ジャスン先生で、アメリカ合衆国ハワイ州出身の27歳です。根羽小学校、中学校及び平谷小学校で英語の授業で、助手を務めます。

ハワイにいる頃から日本の文化に興味を持っており、今回日本に来ることをとても楽しみにしておりました。7月31日に来村いたしました。が、英語の授業ばかりではなく、学校行事や村の行事等でご活躍いただけると思います。



「ご自身から一言」

私の名前は、ルセロ・ジャスミンです。私は、アメリカ出身で、ハワイ州の中のヘレイワと呼ばれる小さな町で育ちました。27歳です。私は、たくさんの趣味を持っています。スポーツが好きです。テニス、ラッケットが大好きです。ソニンング、サーフィン、ボウリング(芸登り)、サッカーそして野球をすることが好きです。運動をしています。

ない時には、アニメやYouTubeを見ることやテレビゲームをやるのが好きです。私の好きなアニメは、フルーツバスケット、犬夜叉、ドラゴンボール、セーラームーンそしてナルトです。

私は、ワシントンのタコマにあるパシフィック・ルセラン大学に通いました。教職という目標に到達する助けとするために歴史と社会学を学びました。東アジアの歴史とハワイの歴史について学ぶことが好きでした。大学卒業後、ハワイのオアフ島のいくつかの学校の代用教員として働き始めました。代用教員の時代には、いくつかの高校、中学校で働きました。同時に、ルレモンと呼ばれるスポーツ衣料品関係の会社にも勤めていました。

とても若い時に日本に来る気持ちが出てきたのは、ハワイで日本文化の大きな影響を受けたからです。日本を体験したいといつもずっと思っていました。ジェット・プログラムでALETになり、教職という私の目標に到達することを志願した時に、ついに私はチャンスを手に入れました。

私は、日本の食べ物、全

て好きです！例えば、蕎麦
寿司、ラーメン、餅、うどん、
そして魚です。でも、
大好きな日本の食べ物、か
つ丼です！とてもおいしい
です。

根羽は、美しいところだ。根羽に住んでいる人たちは、とても歓迎的で親切です。地域の人々を知りたい。家庭に食事やおしゃべりのために招待されたりする中で、その印象はますます強くなっています。この夏、お盆を経験し、楽しむことができました。とても楽しかったです！小さな村に住むことは、私の出身の小さな町や地域がいかに近い関係にあるべきかということを感じてくれています。根羽で他を経験するであらうことが待ち遠しくてたまりません。

日本にいる間に、いろいろなことを経験して、できるだけたくさん旅行し、多くのいろいろな食べ物に挑戦し、根羽や他の地域の人々と生涯続く関係を築き、そしてとにかく自分の日本語の力を伸ばしたいです。私は、日本での私の経験と学んだことをハワイに持ち帰り、共有したいです。

これからよろしくお願ひします。

根羽村保育所の信州型自然保育認定制度 (信州やまほいく) 認定について

このたび、根羽村保育所が信州型自然保育認定制度（信州やまほいく）に認定されました。信州やまほいくとは、豊かな自然と地域資源を活用した活動を積極的に取り入れた保育・幼児教育を行う施設を県が認定する制度です。

これからも、恵まれた根羽村の自然や地域の環境を生かした保育に取り組んでいきます。



カブトムシの幼虫探し



パンジーを使ったジュース作り

飯田人形劇フェスティバル広域講演

飯田人形劇フェスティバルの広域講演が8月2日、根羽村福祉センターやまあいホールで開催されました。当日は子どもさん中心に親子70人余りが集まりました。

今年は、ゆい＊パペットシアターさんによる「かもとり
ごんべえ」と「唄って♪おおかみさん」が上演されました。
三味線を奏でながらのひとり芝居で、歌を交えたテンポ
の良いお話に、子どもたちも楽しく見入っていました。

小・中学校で「夢教室」開催
～三木聖美さんを迎えて～

今年も小学校5、6年生と中学生を対象とした「夢先生」が、9月6日に開催されました。この教室は日本サッカー協会が現役・元選手らを「夢先生」として、自らの体験をもとに夢を持つことの大切さ、仲間との協力することの大切さなどを講義と実践を通じて子供たちに伝える教室で、今年で6回目となりました。

今年は元バスケットボール選手の三木聖美さんを「夢先生」としてお迎えしました。三木さんは、小学5年生からバスケットを始め、高校時代には全国優勝を経験し、卒業後はシャンソン化粧品の子バスケットボールチームに入り、1998年99年とリーグ優勝しました。

最初は体育館で簡単なゲームをしながら、気持ちをリラックスさせました。子ども達は、目の前でバスケのドリブルを見せていただき、歓声を上げていました。

講演では、日本代表になるまでの過程の中で努力や挫折の様子について具体的に話をいただきました。

最後に、自分の夢について、「夢シート」を作成しながら実現へのプロセスを確認しました。



第44回

ふるさと根羽村
フォトコンテスト
「春・夏の部」審査結果

今年度実施しました、第44回ふるさと根羽村フォトコンテスト「春・夏の部」において9名の方が入賞されました。

今回は、夜空を背景に月瀬の大杉と満開の桜が並んでいる作品が村長賞に、出荷に勤しむおぼづき農家さんをとらえた作品が観光協会長賞に選ばれました。

応募された作品は、やまあいフェスティバルで展示しますのでご覧ください。

また、本フォトコンテストでは只今「秋・冬の部」の作品を募集しています。是非多くの方々の応募をお待ちしています。

村長賞



1800年分の900秒・大杉の刻

鈴木嘉章(名古屋市)



中日新聞社賞

風雪に耐えて

土井章義(知多市)



楽しい一日

熊崎元子(飯田市)

審査員特別賞

愛を込めて

下川清光(西尾市)



観光協会長賞

源流の華



塚本國雄(安城市)

写真刊賞



信濃毎日新聞社賞

魚獲りで笑顔

串原幸延(下條村)



中日写真協会賞

川遊び

鳴海寿勇(飯田市)



優秀賞

稲垣宅の桜

伊藤孝行(松川町)



南信州新聞社賞

谷間に咲く

加藤善子(飯田市)

